

## 製品名: CD103 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe87506

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:5000
分子量	Calculated MW:130 kDa; Observed MW:150 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	CD103
別名	CD103; HUMINAE
遺伝子 ID	3682
SwissProt ID	P38570
免疫原	ヒト CD103 の組み換えタンパク質

### 背景

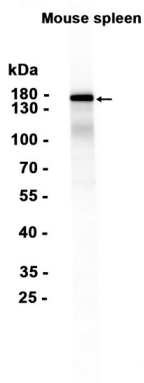
インテグリンは、 $\alpha$ 鎖と $\beta$ 鎖からなるヘテロ二量体の膜貫通タンパク質です。この遺伝子は、1ドメインを含む $\alpha$ インテグリンをコー

ドしており、 $\alpha$ インテグリンは細胞外ドメインで翻訳後切断を受け、ジスルフィド結合した重鎖と軽鎖を生成します。 $\beta 7$ インテグリンと結合することで、このタンパク質はヒト粘膜リンパ球-1抗原として知られるEカドヘリン結合インテグリンを形成します。このタンパク質はヒト腸管上皮内リンパ球 (IEL) で優先的に発現しており、接着における役割に加えて、IEL活性化の補助分子として機能する可能性があります。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



CD103 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウスの脾臓組織抽出物をウェスタンブロット分析しました。